

太田川ダムだより

本号の内容

発行：静岡県太田川ダム建設事務所

第2号 平成14年8月



▲調査横坑に入って、ダムを支える岩盤を見学しました。



▲ダムがどのようにできていくのかを勉強しました。

第13回

「親と子のダム見学会」を開催しました。

平成14年7月27日に太田川流域に住む小学生と保護者の方を対象とした見学会を開催しました。

調査横坑の中で岩盤をハンマーでたたいて硬さを確認したり、ダム本体工事の現場では説明に聞き入るなど、子どもたちは興味津々。

見学後は記念植樹を行い、竹で水鉄砲を作ったり、川遊びをして楽しみました。きっと、夏休みの思い出のひとつになったことでしょう。

8月下旬には、一般の方を対象とした「太田川ダム見学会」を開催します。

太田川の水質(トリハロメタン)Q&A

Q1 トリハロメタンとは何ですか。また、その特性を教えて下さい？

A1 トリハロメタンは、消毒用の塩素と水中の有機物が反応して生成する物質で、「発癌性がある」といわれています。
水道水を安心して飲めるよう、トリハロメタンの水質基準は0.1 mg/Lと決められています。
一般に、雨が降って川が濁ると濁質に含まれる有機物が多くなりトリハロメタンが発生しやすくなります。トリハロメタンの発生を防止するポイントは、濁質に混ざっている有機物を取り除くことです。

Q2 雨で濁った時はどのように処理するのですか？

A2 水道の浄水処理では、濁った水をゆっくり沈殿池を通過させることにより、濁りと一緒にトリハロメタンの原因物質のほとんどが沈殿除去されます。
濁りの取れた水に消毒用の塩素を注入し、ろ過池で砂の層を通過させ、細かな浮遊物を取り除きます。最後に塩素の量を調整し、安全な水を供給します。



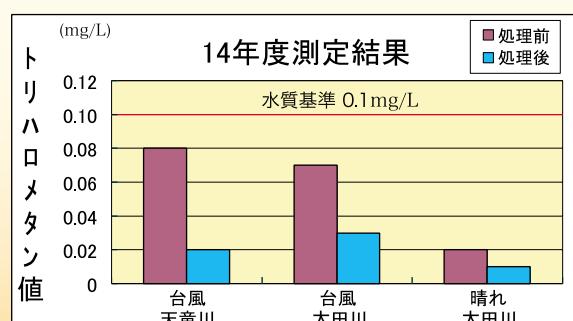
では、浄水処理で実際にどの程度トリハロメタンが除去できるかを天竜川の水を浄水処理している寺谷浄水場の実測値で示します。平成14年7月9日の台風6号の翌日で濁りの多い日にトリハロメタンを測定したところ、**浄水処理後の値は0.02 mg/L (水道水の水質基準 0.1 mg/L)**と水質基準を大幅に下回る値が測定されました。

Q3 太田川の水は安全に処理出来るのですか？

A3 天竜川で測定した同じ7月9日に、太田川の河川水について室内で浄水処理と同様の実験を行いました。その結果、処理前の原水の値が0.07 mg/Lに対し、処理後は**0.03 mg/L**と**水質基準を十分満足**するものでした。太田川の水は台風で濁った状態でも通常の浄水処理により安全な水道水に使用できることが確認されました。

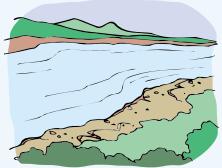
※太田川系の浄水施設はまだ建設されていないので、実際の浄水場での測定はできませんが、室内で浄水処理と同様の実験を行いました。

なお、濁りの少ない日(平成14年6月16日)にも同様の実験を行った結果、**原水で0.02 mg/L、処理後は0.01 mg/L未満**で、水道水の水質基準に対して全く問題ありませんでした。これらのことから、**太田川は良質な水道水源**であることが確認されました。

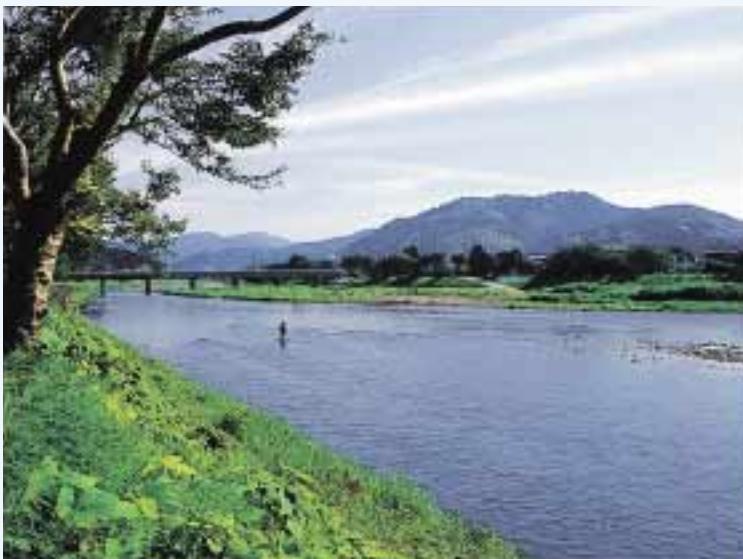


流れ清き太田川

(静岡県企業局)



森町の中央を流れる太田川は、清流・太田川として多くの人々に親しまれています。



▲天森橋付近の太田川



▲太田川の親水公園付近で遊ぶ子供たち

太田川をのぞいてみれば

清流と呼ばれる太田川では、アユ、アブラハヤ、アマゴなどの魚類や川エビが多く見られます。そのほか、様々な水生生物なども見ることができます。

また、水辺の木の枝には渓流のヒスイと呼ばれるカワセミの姿が見られることもあります。

森消費者クラブでは、毎年夏に太田川天森橋（上記写真左）の下で水生生物の調査を行っています。

過去3年の調査結果は、右表（表-1）のとおりです。

カワゲラ、ヒラタカゲロウなど、きれいな水に生息する生物が確認されています。

出典：「水生生物による水質調査結果」
(静岡県環境衛生科学研究所)

(参考) 水生生物による水質調査

水生生物による水質調査は、水中に住んでいる多くの生物が、水質の変化に敏感で、その地点の水質によって生息する生物の種類や数が変化するという特性を利用して、河川の水質を評価しようとするものです。

表-2のとおり水質に応じて指標生物が決まっています。



▲カワセミ（森町の鳥）

表-1 水生生物の調査結果（太田川天森橋下）

調査日		H11.9.10	H12.8.23	H13.8.8
天候		曇り	晴れ	曇り
水質	指標生物	見つかった指標生物：○、数が多いもの：●		
I きれいな水	カワゲラ	●	●	●
	ナガレトビケラ	○	○	○
	ヤマトトビケラ	○	○	○
	ヒラタカゲロウ	○	●	●
	ヘビトンボ	○		
	サワガニ	○		
II 少しきたない水		指標生物は確認されませんでした		
III きたない水		指標生物は確認されませんでした		
IV 大変きたない水		指標生物は確認されませんでした		

表-2 水質評価の指標となる水生生物

水 質	指 標 生 物
I きれいな水	カワゲラ、ナガレトビケラ、ヤマトトビケラ、ヒラタカゲロウ、サワガニ など 9種類
II 少しきたない水	コガタシマトビケラ、オオシマトビケラ、ゲンジボタル、カワニナ など 9種類
III きたない水	ミズカマキリ、ヒル、タニシ など 7種類
IV 大変きたない水	セスジユスリカ、サカマキガイ、アメリカザリガニ など 5種類

ダム本体工事を本格的に着工します。

～付替県道（県道大河内森線）の一部開通～

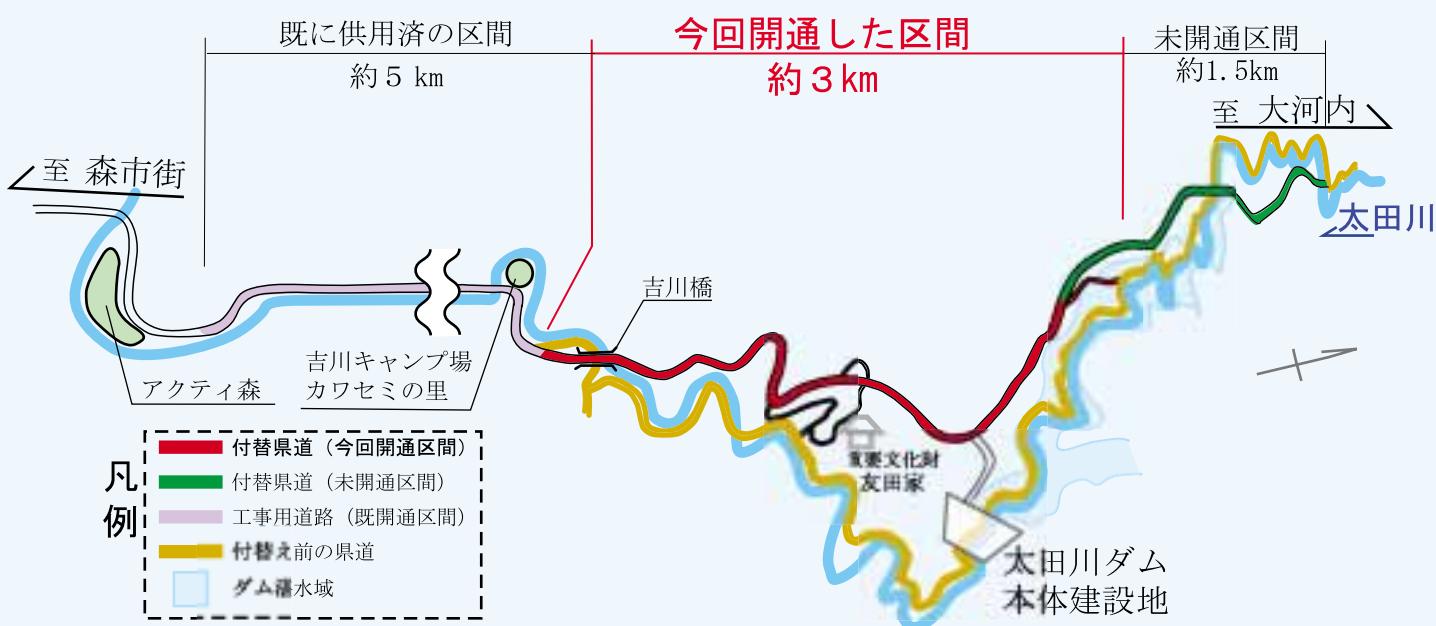
平成14年8月5日に、付替道路として整備を進めてきた、県道大河内森線の吉川橋から片吹までの約3km区間が開通し、太田川に沿って走る現県道の交通は、新設された道路に切り替わりました。

工事用道路としての役割も担う付替道路の完成により、ダム本体建設は秋口から本格的に掘削工事に着手します。

なお、片吹から上流へは、これまでどおり現在の県道を利用していただきます。工事中につき、道路が輻輳してご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。



▲平成14年8月5日の開通式



環境に配慮して工事を進めています。

～太田川ダム環境対策連絡会の設置～

太田川ダムでは、貴重な動植物への影響を回避するために付替林道の計画を変更したり、ダムで水没する箇所の貴重植物を移植したり、クマタカ、オオタカなど猛禽類の繁殖時期を考慮して工事を実施するなど、環境に配慮して工事を進めてきました。

今年度、ダム本体工事の着工にあたり、より確実な環境対策を行うために、動植物の専門家、地元の代表、関係行政機関、工事施工業者で構成する「太田川ダム環境対策連絡会」を設置しました。

連絡会では、自然環境に対する影響のほか、地元の皆様の生活環境についても十分な検討を行い、ダム建設工事が周辺環境に与える影響の低減に努めてまいります。

内容についてご質問等ございましたら…

静岡県・太田川ダム建設事務所

〒437-0215 静岡県周智郡森町森1582-1
TEL : 0538(85)2025 FAX : 0538(85)0885
<http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki/ootagawa1/index.html>

(水道・水質について)

静岡県・企業局水道室

〒420-8601 静岡県静岡市追手町9番6号
TEL : 054(221)2167 FAX : 054(251)5381

